

平成20年度 帰国者歓迎会

平成20年6月7日(土) アークホテルで平成20年度総会・第42回海外派遣教員の帰国を歓迎する集いが開かれました。



神田進前会長のあいさつです。今年度は、全海研の中国ブロック代表として、活躍されています。7月の中国ブロック研究大会の鳥取開催、および全国大会の鹿児島開催について紹介されました。



福武教育・文化振興財団から赤松康弘前会長が参与として出席されました。四川大地震の時にちょうど訪中していて、その時のお話をされた後、乾杯の音頭をとっていただきました。



多田賢一校長は、蘇州日本人学校に勤められました。日本では、勤務していた学校が閉校となり、記念誌やセレモニーなど多忙の中を3月に渡航されたそうです。そして、今度は1ヶ月で開校ということで、激務の中痩せてしまったそうです。カーテンも何もない、ただ建物だけという状況から、現地教員の採用、教材・教具の調達等大変だったそうです。しかし、予算面等、日本人会が強力にバックアップしてくれて、当初63名8クラスで始まった学校も、140名・210名・300名と順調に増加し、日本人学校としての責任を果たしてきていると安堵されたそうです。エピソードはたくさんありますが、地震の



片山明彦教頭は、アムステルダム日本人学校に3年勤められました。日本では同じ学校に帰って来られたそうですが、仕事量がまた増加していて、書類はとの問い合わせに、「今作っています。」と、そば屋の出前のような状況になっていて逆カルチャーショックだそうです。赴任時には、多田校長がアムステルダム日本人学校に以前勤務されていたので、情報をもって安心して行けたそうです。児童・生徒数は270名の15クラスで、美術の授業をできたのが、子ども達とふれ合え有り難かったそうです。オランダといえば、風車・チューリップ・運河などが有名で、国土の4分の3が海面下であり、車で道

騒動を見るに付け、現地では鉄筋をレンガでつないでいるだけなので、耐震性には疑問が残るし、鉄筋の代わりに竹が入っているものがあるという話まで聞いたことがあるそうです。また、孤児院を視察された時には、700人の内2割が捨て子で、障害児や女の子が多かったそうです。今は、女の子ならもう一人産めるように緩和されてきているけれども、「一人っ子政策」の悲しい現実だなあと感想をお話されました。

路を走っていると、その横を運河が流れ、車よりずっと上を船が行き来するという、不思議な光景が見られるそうです。真っ平な国で、干拓地が広がっているの、北海とアイセル湖の間を締め切っている34kmの大堤防が決壊したら国中が浸水してしまうので、環境には強い関心をもっているそうです。また、アフリカやアジア、南アメリカなどから、移民をたくさん受け入れている、寛容性の高い国だそうです。



井原進一郎先生は、上海日本人学校に3年勤められました。上海は半年で都市の様子が変わるといぐらい発展しているそうです。しかし、スモッグで肺炎や気管支炎、ぜんそくなどが多く、大気汚染によって、夜は星が見えないかわりに、空が紫やピンクに見えることがあるそうです。経済格差も大きくて、リヤカーで空き缶を集めている人、高級車でおしゃれにくらす人など日本では考えられないほど隔たりが大きいそうです。

横田さなえ先生は、香港日本人学校に3年勤められました。中学3年生を2度受け持って、進路指導で大変だったそうです。一人少ない生徒で数校、多ければ15校ぐらい調査書を書くため、徹夜に近い日が続くそうです。しかし、受験指導は、塾が情報を多くもっていて、過熱しているようです。逆に、掃除や職場体験で働くということを経験させる取り組みができて、最後は心の通った温かい卒業式に感動したそうです。



今回は7人の内4人の先生方の出席でした。ローマ日本人学校の藤井弘之先生、ボゴタ日本人学校の日笠公則先生、上海

今年度より、神田進前会長の後を受けて、山本正校長が会長に就任されました。こ

日本人学校の川元彰先生は、運動会などのご都合で欠席でしたが、また子どものための国際理解教育や研究大会などで、現地での実践を、発表していただける予定です。



森崎岩之助顧問から、岡山県の派遣教員は、外国旅行気分のような者はおらず、教育者として立派な人を送り出してきたという自信があります。これからも、子ども達に、他の国と協力し、認められるような力をつけていく原動力となってほしいと、激励されました。

の岡山県国際理解教育研究会を、共に考え、共に行動して、会員のためになるような活動を繰り広げていきたいと抱負をお話しされました。



ここで退職を迎えられました神田進校長、齋藤輝三校長、森英志校長からもあいさつがありました。前年度の研究校をはじめ、役員の大役を務められて、会員の協力に感謝の言葉を述べられました。